

和歌山県の子供たちの学力と学習状況

～平成27年度全国学力・学習状況調査の結果から～

平成27年4月21日に実施された全国学力・学習状況調査の結果から、和歌山の子供たちの学力と学習状況・生活習慣について、お知らせします。

全国学力・学習状況調査は、小学校6年生と中学校3年生の児童生徒を対象に文部科学省が実施しています。教科に関する調査は、主に「知識」に関する問題が出題される国語Aと算数・数学A、主に「活用」に関する問題が出題される国語Bと算数・数学Bに加え、今年は3年ぶりに理科の調査も行われ、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題が一体的に出題されました。また、生活習慣や学習習慣に関する児童生徒質問紙調査(アンケート形式)も行われました。

全体的に、全国平均に近づく！ 小学校算数Aは全国平均を上回る！

本年度の教科に関する調査は、以下の結果となりました。全体的に、全国平均との差が縮まり、改善傾向にあります。また、小学校算数Aは全国平均を上回りました。



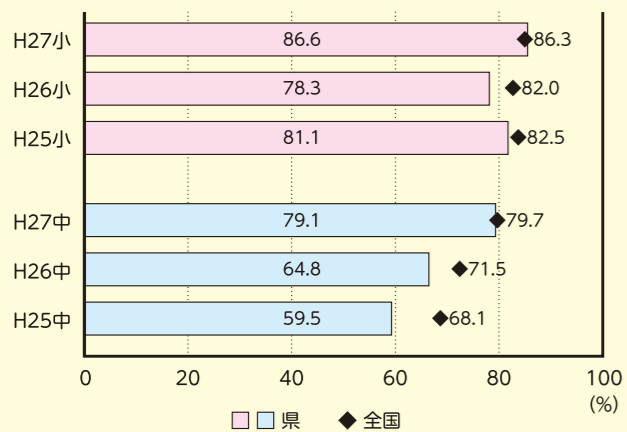
【和歌山県(公立)と全国(公立)の平均正答率(%)】

	小学校					中学校				
	国A	国B	算A	算B	理	国A	国B	数A	数B	理
県	69.5	64.5	75.6	44.9	59.0	73.4	62.9	64.0	39.6	50.1
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

よりよい授業に改善！ わかりやすい授業が増加！

授業づくりの基礎・基本として大切にしている「授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う割合」も改善し、児童生徒が授業において目的意識をもって学習のぞむことができる環境が整ってきました。

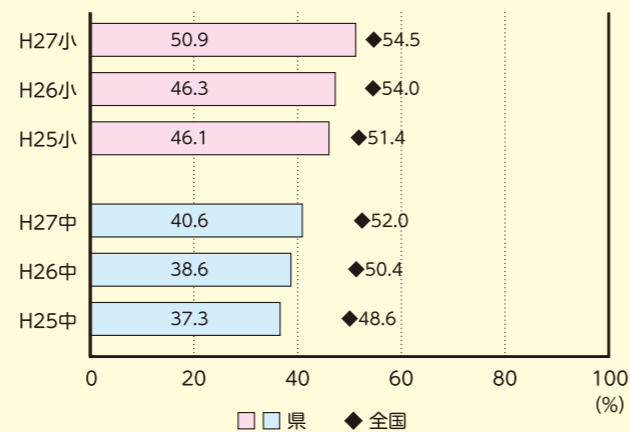
授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う割合



復習をする割合に課題！ 家庭学習の手引き等の活用を！

「家で、学校の授業の復習をしている割合」は、小中学校ともに、年々改善傾向にありますが、全国平均と比べると差がある状況です。各学校で配付する家庭学習の手引き等を活用し、宿題だけでなく、家庭学習の内容を改善することも大切です。

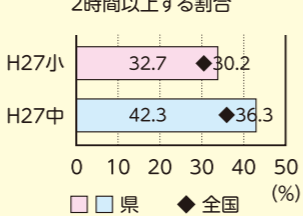
家で、学校の授業の復習をしている割合



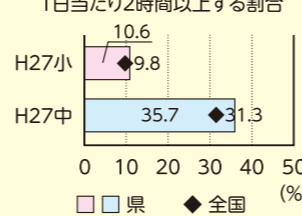
メディアを使用する時間に課題！ ゲームやスマートフォン使用のルールを！

「テレビゲームを1日当たり2時間以上する割合」や「携帯電話等で通話やメール、インターネットを1日当たり2時間以上する割合」は、本県児童生徒の大きな課題となっています。家庭では、ゲームやスマートフォンを使用する際のルールを作り、ルールを守って生活できるように話し合ってください。学力向上はもとより、将来、メディアを上手に活用するための、大きな力になります。

テレビゲームを1日当たり2時間以上する割合



通話やメール、インターネットを1日当たり2時間以上する割合



展示イベント

いずれも、休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)、入館料は高校生以下は無料です。
※詳しくは各館のホームページをご覧ください。

県立近代美術館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690

『生誕110年 村井正誠展 ひとの居る場所』

会期 12月18日(金)～2月14日(日)



和歌山県新宮市で育った画家、村井正誠(むらいまさなり、1905～1999)。ひとが時代と場所を越えて繋がりあえる絵画を求めて、描き続けた生涯を回顧する展覧会です。

村井正誠「クリジフィ」

県立紀伊風土記の丘 和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123

ミニ展「ジュニア考古学研究会応募作品展」

会期 12月23日(水・祝)～1月11日(月・祝)



県内の小・中学生が取り組んだ考古学や歴史学に関する研究作品を展示します。

遺跡に出かけたり、資料を調べたりした見事な作品をご覧ください。

県立図書館 和歌山市西高松1-7-38 ☎073-436-9500

県立図書館郷土資料の展示「真田幸村と和歌山」

展示期間 12月11日(金)～2月11日(木)

展示場所 県立図書館1階閲覧室

県立図書館エントランスコンサート

日時 1月8日(金) 12:00～12:30

場所 県立図書館2階エントランス

内容 プロ演奏家による無料ミニコンサート

※詳しくは、県立図書館ホームページをご覧ください。



県立博物館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670

企画展「紀州の四季を描く」

会期 12月12日(土)～1月17日(日)



かつて、人々は現在よりも、より強く四季の移り変わりを感じていました。この企画展では、江戸時代の紀州の画家による山水図や風景画の中にあらわされた、四季の風景を描いた作品をとりあげます。江戸時代における、人々の季節感をご鑑賞ください。

野呂介石「那智三瀑図」

県立自然博物館 海南市船尾370-1 ☎073-483-1777

「クイズで楽しむ自然博物館-自然博物館検定-」

開催日 1月24日(日)



いつもは何気なく見ている自然博物館の展示には、いろんなところにオドロキや発見が隠れています。このイベントでは館内のすみずみまで観察しながらクイズを解いてもらいます。きっと普段は気が付かなかった新たな発見が見つかるはず！

●参加費 無料(入館料が必要。ただし、高校生以下は無料)
●参加方法 当日館内に受付

「新しい登録有形文化財(建造物)が決まりました」

国の文化審議会で、新たに和歌山市の友ヶ島灯台と御坊市のなかがわ(旧中川家住宅)主屋、東蔵、西蔵の2箇所4件が登録文化財になりました。

友ヶ島灯台は、日本最初期の洋式灯台の一つであり、明治5年(1872)に完成し、今も海の交通安全を守るために使われています。登録有形文化財制度は、開発などで取り壊されようとしている多くの古い建物を次の時代に伝えるための制度で、現在、県内で201件の貴重な建造物が登録されています。



友ヶ島灯台

子どもの安全・安心サポートマニュアル「見逃さないで!子どものSOS」

平成27年2月20日に、川崎市で中学1年生の少年が殺害されるという痛ましい事件が発生しました。被害者になった少年は、友人にSOSを発していましたが、その声は学校や周りの大人には届きませんでした。県教育委員会では、県内でこのような悲しい事件が起こらないように、子供の安全・安心を守るための基本的な対応マニュアルを作成しました。

本マニュアルを公立小・中・高等学校、特別支援学校のすべての教職員に配付するとともに、県振興局や警察署等にも配付し、子供たちの安全・安心を守る取り組みの一層の促進を図っています。



本マニュアルは、和歌山県教育委員会ホームページまたは「和歌山県子どものSOS」を検索してご覧いただけます。

まず逃げよう! 自分と他人の命を守るため

津波避難3原則

- ①「想定にとらわれない」
- ②「最善を尽くせ」
- ③「率先避難者になれ」
(片田敏孝 群馬大学大学院教授 提唱)

県教育委員会では、自然のもつ二面性(恩恵・災害)を理解し、ふるさとを愛し、いざという時、行動できる子供たちを育てるために、防災学習や避難訓練などの防災教育に取り組んでいます。

毎月1日・15日 子ども見守り強化の日です!!

警察・防犯ボランティア・地域の方などが警戒活動やパトロールを行い子供たちを見守ってくれています。

実施時間:登下校の時間帯 実施場所:小学校の通学路